

野外活動プログラム

ナイト
ハイク

夜の森は、昼間とは違い、静寂に包まれながらも、動物や昆虫の営みが見え隠れする、自然の魅力あふれる世界です。そのような夜の自然を感じる共に、複数で歩くことでグループワークの要素を得ながら、仲間意識を深めることができるプログラムです。

(1) 足柄ふれあいの村のナイトハイク

【時間】 1時間以上（対象によって、実施時間は異なります）

【場所】 右図（活動する場所を事前に職員と確認してください）

【対象】 小学生低学年以上

【持ち物】

□タオル □水筒 □懐中電灯（数限定） □虫よけスプレー（季節に応じて）

※服装：長袖・長ズボンの着用が望ましいです。

【展開方法】

事前

- ・必ず下見を行い、職員とコースの確認をします。
- ・懐中電灯の数は、事前に限定しておきましょう。また、懐中電灯を使う場合でも、活動している動物たちへの影響を考え、目にやさしい光が出せるように赤セロハンを事前に懐中電灯に貼るよう話をしておきましょう。

実施

- ・明るい場所で、人数やルールやマナー、トイレ等の確認をします。特にどんなねらいで行うのか、再度意識付けを行います。
- ・徐々に暗さになれるように、明かりをおとしたり、出発場所（暗い場所）へ移動し、暗闇に目を慣らしてから出発します。
- ・分岐点等のコースを間違えそうな場所や課題を設置する場所には、スタッフが待機するようにします。
- ・スタートは、1グループ（2名～6名程度）で、あまり団子状態にならないように、間隔をあけて出発します。
- ・村外のコースに出る場合、門扉（南京錠）のカギが必要になるので、事務室で受け取り、最初にカギで開けて、最後は南京錠でしめることができるように、事前にスタッフ間で確認をしておいてください。

終了

- ・ゴール場所に出迎え、参加者の感想（協力できたことや、心に残ったものなど）を引き出し、ふりかえりをします。

【留意点】

- ・ナイトハイクのねらいを変えると「肝試し」という活動に変化します。「肝試し」は、その名のとおり、度胸試しを主とした幽霊などを想像しながら行うもので、人工的にいろいろな仕掛けをして、楽しむ趣向があります。しかし、驚かす為に、大きな音を出したり、それに驚いて悲鳴や歓声をあげたり、静寂なはずの森の中も慌たしくなります。また、人によっては「森の夜は怖い」という印象を受けて帰ることもなります。足柄ふれあいの村では、野生動物等が多く生息する自然の中で行う活動として、自然への影響を少なくするために、「肝試し」の実施をご遠慮いただいております。



(2) コース紹介

- ・村内コース（散策路周回コース）—— 所要時間：約20分～30分
- ・村外コース（丸太の森方面周回コース）----- 所要時間：約40分

